

ドーハ 2019 世界陸上競技選手権大会 競歩日本代表選手選考要項

1. 編成方針

東京 2020 オリンピック（以下、東京オリンピック）へ向けた 2019 年度最重要な国際競技会と位置づけ、暑熱環境下においても実力を存分に発揮できる能力を有し、東京オリンピックで活躍が期待される競技者、並びに本大会でメダル獲得及び入賞が期待される競技者で選手団を編成する。

2. 選考競技会

(1) 男子 20km 競歩

- ・ジャカルタ 2018 アジア競技大会
- ・第 102 回日本陸上競技選手権大会・20km 競歩（2019／神戸）
- ・第 43 回全日本競歩能美大会（2019／能美）

(2) 男子 50km 競歩

- ・ジャカルタ 2018 アジア競技大会
- ・第 57 回全日本 50km 競歩高島大会（2018／高島）
- ・第 103 回日本陸上競技選手権大会・50km 競歩（2019／輪島）

(3) 女子 20km 競歩

- ・ジャカルタ 2018 アジア競技大会
- ・第 102 回日本陸上競技選手権大会・20km 競歩（2019／神戸）
- ・第 43 回全日本競歩能美大会（2019／能美）

(4) 女子 50km 競歩

- ・第 57 回全日本 50km 競歩高島大会（2018／高島）
- ・第 103 回日本陸上競技選手権大会・50km 競歩（2019／輪島）

3. 選考基準

編成方針に基づき、本大会の参加標準記録を有効期間中に満たした競技者の中から日本代表選手を選考する。ただし、2019年9月のファイナルエントリー時点で、国際陸上競技連盟（以下、IAAF）が定める本大会の参加資格を充たしていることを条件とする。

種目ごとの内定条件と選考条件を、下記のとおり定める。

(1) 内定条件（男子 20km 競歩・男子 50km 競歩・女子 20km 競歩のみ）

- ・ジャカルタ 2018 アジア競技大会（以下、アジア大会）で優勝した競技者
- ・アジア大会以外の選考競技会の日本人最上位者で、全選考競技会終了時点で派遣設定記録を満たした競技者

(2) 選考条件

選考競技会において日本人 3 位以内の競技者の中から、各選考競技会での記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案しつつ、歩型違反による失格のリスクの程度も併せて勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者

4. 派遣設定記録

種目	男子	女子
20km 競歩	1 時間 20 分 00 秒	1 時間 30 分 00 秒
50km 競歩	3 時間 45 分 00 秒	設定なし

※派遣設定記録：本連盟が定める、世界ランキング 12 位相当の記録

派遣設定記録の有効期間は、2018 年 3 月 7 日から全選考競技会終了日まで。

5. 選考方法

- (1) 選考基準 (1) による選考は、即時内定とする。
- (2) 選考基準 (2) による選考は、全選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で決定し、理事会において報告する。

6. 東京オリンピックの内定条件

本大会で、男子 20km 競歩、男子 50km 競歩、女子 20km 競歩において、各種目日本人最上位で 3 位入賞以上の成績を収めた代表選手を、東京オリンピックの代表に内定する。ただし、IAAF が定める東京オリンピックの参加資格を有効期間内に満たすことを条件とする。

7. 補足

- (1) 本大会の参加資格に係る IAAF ワールドランキングのパフォーマンススコア対象期間は、2018 年 3 月 7 日から 2019 年 9 月 6 日まで。
- (2) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は IAAF が定めるエントリー数の上限の枠を保證するものではない。
- (3) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。
- (4) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規準に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
- (5) 代表選手の決定から本大会までの期間が長いことに配慮し、各種目最大 1 名の補欠を選考することができる。ファイナルエントリーまでに正選手に故障などが生じた場合は、補欠が正選手となり本大会に出場する。
- (6) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。
- (7) 本大会は、2019 年 9 月 28 日～10 月 6 日までドーハ（カタール）で開催される。

以上